

【西区】教壇から  
「おやじ」が、中学  
生に向けたメッセージ  
を伝えます。時  
似中学校(越後修校  
長、八百五人)の生  
徒の父親でつくる  
「平成おやじの会」  
が、「父の日」の十  
六日の日曜を観て、  
自らの体験を交えて  
職業観などを語る特  
別授業を初めて行  
う。

同会は二〇〇〇年に発  
足、会員は約五十人。校内  
の修繕をはじめ、バレーボ  
ークといった部活動の試  
合の相手を務めるなど、生  
徒に印象づけてきた。

今回、学校側が、「親  
子で話し合っかはにな  
れば」と、総合学科の生  
徒を添す父親の背中を生  
徒に印象づけた。

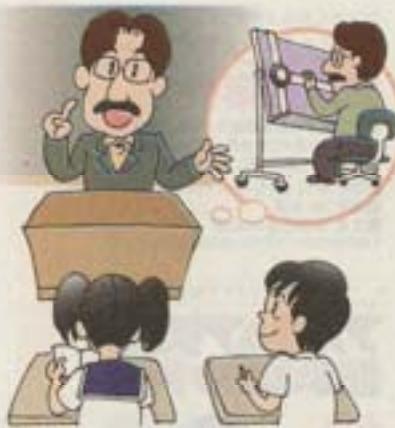
今春の学校週五日制の完  
全実施に伴い、関心が高  
まる地域と学校の連携強  
化もねらった。

同会は依頼を伝説

【西区】教壇から  
「おやじ」が、中学  
生に向けたメッセージ  
を伝えます。時  
似中学校(越後修校  
長、八百五人)の生  
徒の父親でつくる  
「平成おやじの会」  
が、「父の日」の十  
六日の日曜を観て、  
自らの体験を交えて  
職業観などを語る特  
別授業を初めて行  
う。

# 日曜参観は おやじが先生

## 琴似中で16日



「三年まで全下一年級  
の授業を四、五十年代の会  
員二十六人が分担して担  
当する。  
テーマは「おやじから  
のメッセージ」。仕事の  
苦労話や中学生の時の思  
い出、若者への苦言など、  
一人ひとりの「おやじ」  
によって個性豊かな授業  
が期待できそうだ。  
現在、会員は原稿を書  
くなど準備を進めてい  
る。めったに立つことの  
ない教壇だけに、緊張し  
そう、との声もあるが、  
自らも教壇に立つ建築士  
の牛田健一会長は「父親  
のひたむきな姿や思いを  
伝える場にしたい」と意  
気込んでいる。

## 職業観語り苦言も